

巨匠たちは、コンクリートを染めていた。



### その塗料の歴史は、19世紀の文豪ゲーテから始まった。

19世紀の文豪、ゲーテがフレスコ画の画材として水ガラス(ケイ酸カリウム)塗料を発売して以来、100年以上をかけた進化を重ねた建築塗料が、KEIM Concretal(カイク コンクレタル)です。

KEIM Concretalは、コンクリートやモルタル、漆喰などに含浸、化学反応により素地と一体化。塗膜を形成する塗料には不可能な「素地テクスチャーをそのまま生かした着色」、言わば「白く塗ったコンクリート」ではなく「白いコンクリート」が表現できるのです。

また、染める濃度をコントロールできる専用希釈剤を使用することで、「ムラのない打ちっ放しコンクリート」「うすく青味がかったモルタル壁」「ほんのり温かみを感じる漆喰」などの表現も思いのまま。イメージを自在に表現できる「塗って染める」建築塗料。それが、KEIM Concretalなのです。

#### ◎モダニズム建築のレジェンドたちに愛された KEIM

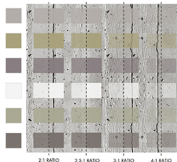
コルビュゼ、グロピウス、タウトなど、モダニズム建築のレジェンドだけでなく、ザハ・ハジド、インゲンホーフェン、MVRDVなど、ヨーロッパ現代建築の巨匠にも愛されています。

#### ◎レガシー・ランドマークのスタンダード塗料 KEIM

パウハウス・デッサウ校舎やグロピウス/マイスターハウス、サブア部などのレガシー、ホワイトハウスQ2006年リノベーション、クレムリン(赤の壁)、パッキンガム宮殿、シドニーオペラハウス、マリナーベイ・サンズや各国大使館など、多くのランドマークで使用されています。

#### ◎超長寿命と保護機能が「100年塗料の証」サスティナブルな社会に貢献する KEIM

●紫外線による退色がほぼ無く、20年~30年塗り替えが生じません ●呼吸する表面が内部からの湿気を外に逃がします ●塗膜ではないため、膨れや剥がれが生じません ●強アルカリだから、カビなどの微生物による汚れやシミが発生しません ●鉱物由来の無機物だから、不燃性です



素地テクスチャーをそのまま生かす、  
「塗って染める」建築塗料。KEIM Concretal

カイク コンクレタル

